

<p>■After</p> <p>建築名称 下段: 英語名</p>	<p>Cineteca Bologna</p> <p>Cineteca Bologna</p>		
<p>建築用途</p>	<p>大分類 アミューズメント</p>	<p>小分類 映画館, 博物館</p>	
<p>改修設計者</p>	<p>基本: Aldo Rossi, 実施: Roberto Scannavini</p> <p>URL</p>		
<p>所在地</p>	<p>Bologna</p> <p>Google Map</p>		
<p>改修年</p>	<p>2003</p>		<p>After</p> <p>ファサードには旧タバコ工場のサインが遺構として残されている</p>
<p>建築規模</p>			<p>撮影者 提供者</p> <p>柳沢伸也 撮影</p>
<p>掲載書誌</p>			<p>概要 after</p> <p>1906年に建てられた旧タバコ工場を映画博物館に転用。ローニャ映画館ネットワークの一つとして、新作映画専用の映画館としても機能している。</p>
<p>賞・選定</p>			
<p>資料・その他</p>	<p>https://cinetecadibologna.it/</p> <p>URL</p>		
<p>■Before</p> <p>建築名称</p>	<p>Manifattura Tabacchi</p>		<p>概要 before</p> <p>1906年に紙巻きたばこ製造のために建てられた工場建物の内、残された唯一の建物。1952年に北郊外の新しい工場に移転するまで換業を行った。</p>
<p>建築用途</p>	<p>大分類 生産</p>	<p>小分類 タバコ工場</p>	
<p>■写真</p> <p>Before</p>	<p>After</p> <p>工場建屋のあった部分の大半は広場として整備</p>		<p>After</p> <p>2001年9月11日広場と命名された</p>
			
<p>撮影者 提供者</p> <p>柳沢伸也 作図</p>	<p>撮影者 提供者</p> <p>柳沢伸也 撮影</p>		<p>撮影者 提供者</p> <p>柳沢伸也 撮影</p>
<p>■リノベーション内容</p>	<p>キーワード</p> <p>増築、補強、産業遺産、用途変更、遺構、海外</p>	<p>内容</p> <p>19世紀に建てられた旧タバコ工場は、運河の水を利用し1100人以上を雇用する大規模な工場であったが、現存するのは1906年に建てられたアールヌーボー様式のファサードを持つ建物のみである。1952年に市外地郊外へ移転して以降は、映画館機能の他は放置された。建物は映画博物館+映画館に転用され、映像文化の貴重な資料の収集や修復、展示を行っている。正面ファサードには今なお旧タバコ工場の文字が残り、外観はほぼ既存のまま保存され、歴史を伝えている。チネテカーは、映画フィルムの修復で、国際的に有名な施設となっている。旧タバコ工場内の空地部分は、地上は芝生広場、地下は駐車場として活用されている。駐車場へは自走式スロープで入庫できるようになっており、地上部分は地域に開放されている。芝生広場は、2003年の調査時にはすでに「2001年9月11日広場 (Parco 11 Settembre 2001)」というニューヨークで起きた惨劇を追悼する名称がつけられていた。</p>	
<p>■備考</p>	<p>Cineteca Bolognaは、DAMS(旧食肉処理場)や市内のいくつかの映画関連施設と連携して運営されている。夏には、中心部の広場で野外シネマを上映している。</p>		<p>関連資料画像</p>
<p>■作成者 氏名/所属</p>	<p>柳沢伸也/JIA再生部会</p>		<p>SY-36</p>